



平成 22 年 12 月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 22 年 11 月 8 日
上場取引所 大

上場会社名 六甲バター株式会社
コード番号 2266 URL <http://www.qbb.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 哲夫
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大川 良 (TEL) 078-231-4681
四半期報告書提出予定日 平成 22 年 11 月 12 日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 22 年 12 月期第3四半期の連結業績(平成 22 年1月1日～平成 22 年9月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年 12 月期第3四半期	26,531	2.7	2,453	△14.5	2,396	△15.5	1,373	△13.4
21 年 12 月期第3四半期	25,826	—	2,870	—	2,835	—	1,587	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22 年 12 月期第3四半期	68.25	—
21 年 12 月期第3四半期	78.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22 年 12 月期第3四半期	23,605	11,816	50.1	587.03
21 年 12 月期	24,057	10,814	45.0	537.12

(参考) 自己資本 22 年 12 月期第3四半期 11,816 百万円 21 年 12 月期 10,814 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21 年 12 月期	—	0.00	—	10.00	10.00
22 年 12 月期	—	0.00	—		
22 年 12 月期 (予想)				10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 有

(注) 21 年 12 月期期末配当金の内訳 普通配当7円 50 銭 特別配当2円 50 銭
22 年 12 月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当7円 50 銭 特別配当2円 50 銭

3. 平成 22 年 12 月期の連結業績予想(平成 22 年1月1日～平成 22 年 12 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	36,620	2.1	3,060	△25.5	2,990	△26.1	1,715	△25.2	85.19

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

連結業績予想の修正については本日(平成 22 年 11 月 8 日)公表の「平成 22 年 12 月期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

4. その他(詳細は、[添付資料]P. 3「その他」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更等の変更 無

② ① 以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期3Q 21,452,125株 21年12月期 21,452,125株

② 期末自己株式数 22年12月期3Q 1,322,149株 21年12月期 1,317,152株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 22年12月期3Q 20,132,087株 21年12月期3Q 20,142,530株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明, その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基いており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書（第3四半期連結累計期間）	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策効果等により企業収益の改善や個人消費の持ち直しの兆しが見られましたものの、依然として厳しい雇用情勢やデフレ状況が続き、円高・株安の影響などにより、景気の先行きへの不透明感が強まる環境下で推移いたしました。

食品業界におきましては、今夏の猛暑の影響で一部の商品に消費回復の兆しが見られましたが、生活防衛意識の高まりから消費者の低価格志向が続きました。

このような状況のなか当社グループといたしましては、食の「安全・安心」を最重点に、更なる品質管理体制の強化に努めるとともに、販売の促進、新製品の開発、コストの低減に努めました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は265億3千1百万円（対前年同四半期比102.7%）、営業利益は24億5千3百万円（対前年同四半期比85.5%）、経常利益は23億9千6百万円（対前年同四半期比84.5%）、四半期純利益は13億7千3百万円（対前年同四半期比86.6%）となりました。売上高の内訳はチーズ部門が251億9千3百万円（対前年同四半期比103.5%）、ナッツ部門が6億6千7百万円（対前年同四半期比86.7%）、チョコレート部門が5億2千万円（対前年同四半期比84.7%）、その他部門が1億4千9百万円（対前年同四半期比144.9%）となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産は、商品及び製品が3億9千4百万円、短期貸付金が5億円増加しましたが受取手形及び売掛金が14億6千6百万円減少したこと等により前連結会計年度末と比較し4億5千1百万円減少し、236億5百万円となりました。また、負債は、支払手形及び買掛金が2億3千9百万円、短期借入金が2億1千万円増加しましたが未払法人税等が13億2千万円、流動負債のその他が5億5千9百万円減少したこと等により前連結会計年度末と比較し14億5千3百万円減少し、117億8千8百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により13億7千3百万円増加しましたが配当金の支払により2億1百万円減少したこと等により前連結会計年度末と比較し10億2百万円増加し、118億1千6百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは13億1千7百万円の収入となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益と売上債権の減少による収入であります。（前年同四半期は38億4百万円の収入）

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは22億3千9百万円の支出となりました。主な要因は定期預金の預入による支出、短期貸付による支出及び有形固定資産の取得による支出であります。（前年同四半期は29億4千5百万円の支出）

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは8百万円の収入となりました。主な要因は短期借入による収入であります。（前年同四半期は3億1千3百万円の支出）

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて9億1千3百万円減少し15億7千7百万円（前連結会計年度末は24億9千万円）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、1面および本日（平成22年11月8日）公表の「平成22年12月期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、平成22年8月11日発表の連結業績予想から、売上高につきましては家庭用チーズ製品の売上が順調に推移していることから、3億2千万円上方修正しております。また、利益面では、売上高の増大に加えて為替の予想比円高効果もあって、営業利益を4億円、経常利益を3億4千万円、当期純利益を1億6千5百万円それぞれ上方修正しております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出につきましては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,045,312	3,038,250
受取手形及び売掛金	7,271,452	8,737,912
商品及び製品	1,462,202	1,067,555
仕掛品	63,296	73,102
原材料	955,615	925,347
短期貸付金	2,505,131	2,004,227
その他	768,970	732,668
貸倒引当金	△154	△154
流動資産合計	16,071,827	16,578,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,847,413	4,834,778
減価償却累計額	△3,325,640	△3,259,394
建物及び構築物(純額)	1,521,772	1,575,383
機械装置及び運搬具	8,542,240	8,570,062
減価償却累計額	△6,429,125	△6,442,448
機械装置及び運搬具(純額)	2,113,114	2,127,614
土地	1,121,756	1,121,756
建設仮勘定	281,461	128,552
その他	538,078	485,124
減価償却累計額	△402,447	△384,748
その他(純額)	135,631	100,375
有形固定資産合計	5,173,737	5,053,682
無形固定資産		
無形固定資産合計	135,844	120,102
投資その他の資産		
投資有価証券	647,852	777,045
その他	1,587,676	1,536,771
貸倒引当金	△11,706	△9,476
投資その他の資産合計	2,223,823	2,304,341
固定資産合計	7,533,404	7,478,126
資産合計	23,605,232	24,057,034

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,968,633	3,729,490
短期借入金	1,800,000	1,590,000
未払法人税等	342,051	1,662,264
未払費用	2,657,352	2,604,033
株主優待引当金	—	8,270
役員賞与引当金	—	50,000
その他	597,569	1,156,857
流動負債合計	9,365,608	10,800,916
固定負債		
退職給付引当金	1,983,659	2,011,731
その他	438,997	429,466
固定負債合計	2,422,656	2,441,198
負債合計	11,788,264	13,242,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,843,203	2,843,203
資本剰余金	2,409,014	2,409,014
利益剰余金	6,837,159	5,664,533
自己株式	△420,725	△418,590
株主資本合計	11,668,652	10,498,161
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	165,570	243,760
繰延ヘッジ損益	△17,255	72,998
評価・換算差額等合計	148,315	316,758
純資産合計	11,816,967	10,814,919
負債純資産合計	23,605,232	24,057,034

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	25,826,223	26,531,045
売上原価	14,534,935	14,641,618
売上総利益	11,291,288	11,889,426
販売費及び一般管理費	8,420,492	9,435,677
営業利益	2,870,796	2,453,749
営業外収益		
受取利息	11,108	4,513
受取配当金	8,010	9,266
その他	7,839	9,419
営業外収益合計	26,959	23,198
営業外費用		
支払利息	36,027	14,077
為替差損	472	40,432
その他	25,414	26,326
営業外費用合計	61,914	80,836
経常利益	2,835,840	2,396,111
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8,160
貸倒引当金戻入額	13,620	0
特別利益合計	13,620	8,160
特別損失		
投資有価証券評価損	46,689	—
固定資産廃棄損	44,393	32,857
減損損失	5,618	—
特別損失合計	96,702	32,857
税金等調整前四半期純利益	2,752,758	2,371,414
法人税、住民税及び事業税	1,463,000	1,195,000
法人税等調整額	△297,538	△197,561
法人税等合計	1,165,462	997,438
四半期純利益	1,587,296	1,373,975

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,752,758	2,371,414
減価償却費	561,554	634,846
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△130,135	△28,072
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13,617	2,229
長期未払金の増減額(△は減少)	—	9,531
受取利息及び受取配当金	△19,119	△13,777
支払利息	36,027	14,077
為替差損益(△は益)	472	40,432
有形固定資産廃棄損	44,393	32,857
減損損失	5,618	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△8,160
投資有価証券評価損益(△は益)	46,689	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,735,000	1,466,459
たな卸資産の増減額(△は増加)	50,684	△415,110
その他の流動資産の増減額(△は増加)	62,153	△38,436
その他の固定資産の増減額(△は増加)	161,771	119,821
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,074,742	238,524
未払費用の増減額(△は減少)	124,083	54,305
その他	△176,840	△680,483
小計	4,166,751	3,800,460
利息及び配当金の受取額	19,119	13,777
利息の支払額	△37,694	△14,206
法人税等の支払額	△344,007	△2,482,536
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,804,169	1,317,496
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△710,218	△1,235,694
定期預金の払戻による収入	503,495	274,989
有価証券の売却による収入	10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△750,908	△685,434
無形固定資産の取得による支出	—	△96,059
投資有価証券の取得による支出	△2,408	△2,372
投資有価証券の売却による収入	—	8,460
貸付けによる支出	△2,000,000	△507,180
貸付金の回収による収入	4,170	4,064
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,945,868	△2,239,226
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	300,000
短期借入金の返済による支出	—	△90,000
長期借入金の返済による支出	△159,000	—
配当金の支払額	△149,841	△199,345
その他	△4,832	△2,134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△313,674	8,519
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,366	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	545,993	△913,210
現金及び現金同等物の期首残高	2,010,469	2,490,365
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,556,463	1,577,154

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至 平成21年9月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

事業の種類として「食料品の製造販売業」のみの単一事業を営んでいるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至 平成21年9月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店はありませんので、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至 平成21年9月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

海外売上高はありませんので、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。